

春風亭 一之輔 独演会

いま最もチケットの取れない男 初登場

春風亭 一之輔



江戸の音色で大人のラブソング

柳家 山菊

春風亭 一之輔

令和8年

10月21日 水

午後6時30分開演 (開場 午後6時)

飯田文化会館ホール

チケット発売日 9月9日 水

※発売初日は、お一人様1回につき6枚まで

【プレイガイド】

飯田文化会館 9月9日 午前9時～

※発売日以降は平日8:30～17:15

※電話予約は発売翌日9:00～(残席がある場合)

チケットオンライン「いいチケ」

9月9日 午前9時～

<https://p-ticket.jp/iida>



平安堂飯田店・座光寺店

9月9日 午前10時～

※小学生以下
全席指定

1階席

一般 5,000円

学生 2,500円

2階席

一般 3,000円

学生 1,500円

※未就学児入場不可。託児(無料)の予約は10/9金まで[先着順]

※公演中止の場合を除き、ご購入後のチケットの変更、キャンセルは一切お受けできません。

主催 おいでなんしょ寄席実行委員会／飯田文化会館／南信州新聞社 企画協力 中村 真規

お問い合わせ 飯田文化会館 〒395-0051 飯田市高羽町5-5-1 TEL.0265-23-3552

飯田文化会館

検索

おいでなんしよ寄席と

橘左近師匠

飯田市扇町出身の故・橘左近(本名・登内明人)師匠は、幼少期からの落語好きが高じて寄席文字書家となり、第一人者として長年にわたり活躍しました。

1989(平成元)年に始まった飯田の地域寄席「おいでなんしよ寄席」ではふるさと飯田への恩返しとして、2023年に亡くなるまでプロデューサーを務め、東西の名人や大御所、人気落語

家を飯田へ招き続けました。その集大成ともいえるのが、1997(同9)年に実現した「国宝二人会」です。

柳家小菊さん、桂米朝の兩人間国宝による夢の競演は全国でほんの数回しか実現しなかつたといわれています。

左近師匠は最後に「大切なることに落語が根付き、多くのファンに守られているのは、本當にうれしくて素晴らしいこと」「芸能を愛する

豊かな環境を維持する努力を惜しまぬことが大切」というメッセージを残しました。私たちはこの思いを受け継ぎ、これからもおいでなんしよ寄席を続けていきます。



春風亭一之輔

しゅんぷうてい いちのすけ



2001年に春風亭一朝師入門。2012年、21人抜きを経て、真打に昇進。古典落語を現代の感覚で自在に演じる話芸が高く評価され、NHK新人演芸大賞、文化庁芸術祭新人賞、国立演芸場花形演芸大賞など数々の賞を受賞した。

日本テレビ「笑点」の大喜利メンバーをはじめ、ニッポン放送「春風亭一之輔 あなたとハッピー!」、JFN「SUNDAY FLICKERS」などテレビ・ラジオでも活躍。現在、最もチケットが取りにくい落語家の一人として全国で人気を集めている。

柳家小菊

やなぎや こぎく



1973年、寄席の色物・粋曲の柳家紫朝(鶴賀喜代太夫)に入門。1976年、ロー賞新人賞、1977年フジサンケイグループ放送演芸大賞ホープ賞を受賞。1979年には新内師範として「鶴賀喜代花」の名を許される。

寄席には欠かせない「色物」の第一人者。三味線の色色と粋な唄で、江戸情緒あふれる寄席の世界へと誘う。義太夫三味線の人間国宝・鶴澤津賀寿とのユニット「つとり姉妹」では、浮世節「たぬき」の掛け合い曲弾きなど好評。

◆スマホの電源を切る方法[機種別]

Android

(Google Pixel・Galaxy・Xperia・AQUOSなど)

方法A(現在主流)

- ①電源ボタンと音量アップボタンを同時に押す
- ②「電源オフ」をタップ

Galaxyは「サイドボタン+音量下」、Pixel 6以降は「電源ボタン+音量上」

方法B(機種によってはこちら)

- ①電源ボタンだけを数秒間長押し
- ②「電源を切る」をタップ



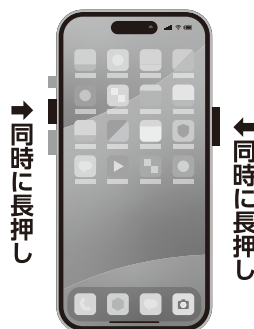
らくらくスマートフォン

- ①本体の電源ボタンを長押し
- ②「電源を切る」「シャットダウン」を押す
- ③「電源を切りますか?」と表示されたらOK



iPhone

- ①サイドボタンと音量ボタンを同時に長押し
- ②「スライドで電源オフ」が表示されたら右へスライド



【電源の入れ方】本体側面(または正面)の電源ボタンを、メーカーのロゴが表示されるまで長押しする

万が一、地震などの災害が発生した場合は、館内放送と係員により避難のご案内をいたします。安心してお楽しみください。

公演を安心してお楽しみいただくために開演前に
スマートフォンの電源をお切りください

近年、公演中にスマートフォンの着信音やアラーム音が鳴り、お客様や出演者の集中を妨げるケースが増えていきます。皆様が気持ちよく落語をお楽しみいただけるよう、ご協力をお願いいたします。